

iepro#
23

Idea Embodiment
Professional Ehime

Architect

建築家

「木の想いに耳を傾け、
目利きした材を使い
伝統を継承する匠。」



山内建匠 有限会社

山内 清視

Kiyoshi Yamauchi



ヤマザクラが見守る、穏やかな暮らし。



[家族構成] 4名
[敷地面積] 479.60㎡ (145.08坪)
[延床面積] 101.84㎡ (30.80坪)
[工 法] 木造在来軸組工法
[工 程] 設計6カ月・施工7カ月



数寄を凝らした現代平屋

お子さんの成長に伴い、マイホームへの想いを強くしたMご夫妻。第一条件を「大工さんが建てる木や土壁の家」としていたが、その眼鏡に適ったのが山内建匠だ。「ブログを見て山内社長のファンになり、完成見学会に足を運び、技術と人柄、そのすべてに魅了されました」とご主人。細やかなコミュニケーションを経て、じっくりと時間をかけて「ゆったりと平屋で暮らしたい」という希望を叶えた、無垢材と塗り壁の邸宅が完成した。どの場所にどの材を使うかにとことんこだわる山内社長は、設計段階で中引き梁に20年以上寝かせたヤマザクラを使うことを決めた。その存在を生かすために登り梁構造を採用。さらにロフトの笠木や玄関の手摺りなど、随所にヤマザクラを用いてアクセントとした。高い天井のリビングでは、梁や垂木の美しい構造を眺めることができ、Mご夫妻は日々、満足感を得ているという。

01_吹き抜けのLDK。梁や垂木を眺めながらの日々は、施主さまの満足につながっているそう。02_軒の下に玄関庇をつけて、シンプルななかにも和へのこだわりを体現。03_あらわしとなった構造材は、いずれも山内さんが目利きしたものの。04_土壁と無垢材が醸し出す心地よい邸内の空気。より快適な生活のために、断熱性や気密性も高めている。05_小屋裏に設けたロフトは、天井の杉板張りの細かい部分の仕舞いにまでこだわっている。

ACCESS / P244



響き合う、旧家の品格と現代の心地よさ。



山内 清視
Kiyoshi Yamauchi

山内建匠 有限会社

住所 / 新居浜市大生院149-28
電話 / 0897-41-0755
メール / yamauchi@kensyou.co.jp

Profile

1964年、新居浜市で代々続く大工の家の三代目として生まれる。幼少期から学生時代まで家業を手伝い、木材に触れてきた。90年に二級建築士事務所を設立。95年に山内建匠(株)に改組、社名を変更。設計から大工施工、アフター、修繕、修理工事まで自身で対応する。二級建築士、管理建築士、宅地建物取引主任、福祉住環境コーディネーター、カラーコーディネーター、住宅ローンアドバイザーなどの資格を持つ。

Message

【技の継承】
山内建匠は、地場密着型の「工務店」であることに誇りを持っています。工務店は現場の最前線で働く大工を育て、育てられた大工たちは技能や技術を継承することで、日本の建築文化を次代へと伝えていくのです。山内建匠の家づくりには、三代にわたって受け継がれてきた「施工の技」と「匠の魂」が生かされています。

【木の想いを聴く】
「こういう風に使ってほしい」「美しく見せてほしい」「こんな風に支えたい」「この場所にいさせてほしい」。もの言わぬ木々たちではありますが、私はそれぞれが確かな「想い」を持っていると信じています。だから木の想いに耳を傾けて、吟味して手加工を行い、その良さを最大限に引き出すことが私の役割だと思っています。日本には四季があり、実に多種多様な「気」があります。それらの特徴、長所も短所もしっかりと見極めて、意匠を考慮した住まい空間を構築していきます。これからも木材の適材適所を見極めながら、施主さまにとってベストな提案を行ってまいります。



和の伝統にこだわるモダン住宅

Kさまの実家は、長屋門や中門を構えた堂々とした旧家。築120年を超えるという母屋に隣接して、Kご夫妻の住宅が計画された。山内さんは旧家としての品格を重んじながら、若き施主ご夫妻の心地よさを叶えるデザインを導き出した。外観は趣のあるグリーンの色合いを基調とし、深く出した軒天には無垢材を張っており、軒柱との調和が目まぐるしく。玄関は趣を生み出すべく、床は肥松の無垢材、建具は杉材を使用している。南に向かって大窓を取ったリビングは、光が差し込む心地よい空間。柱をつなぐ壁をデザインのアクセントとし、檜の板パネルをはめ込んでいる。この壁に合わせて天井の一部を黒とし、シックな雰囲気を生み出した。

圧巻は母屋の庭を望む和室。天然杉の大木から製材した赤身芯材の造作材にこだわり、大黒柱は杣目に泡壺が現れた銘木。経年による味わいが楽しめる本物の住まいとなっている。

01_深く出した軒は、水平ラインを際立たせることに加えて、家を守る役割も担う。02_来客を迎える和室は、母屋の庭を望む特等席。03_杣目に泡壺が現れた杉の大黒柱。04_檜の板パネルは一枚ずつ手作業で加工。テレビの裏側にはタイルを貼ってアクセントとした。05_肥松の落ち着いた色合いが美しい玄関。造作の収納はケヤキ材を使用。

【家族構成】3名
【敷地面積】412.60㎡(124.81坪)
【延床面積】122.13㎡(36.94坪)
【工 法】木造在来軸組工法
【工 程】設計6カ月・施工7カ月



山歩き



木材が育った環境に興味があり、ときどき山に入ります。そして、木がどんな風に育ったのか分かった上で、住宅のなかで使うことを意識しています。葉・皮・幹を見ただけで木種が分かるようになってきました。大工として、「原木を見抜く力」を大事にしていきたいと思っています。

Iepro's
Another Works
このイeproの
他のプランを見る



風の通り道のある
無垢の家



大好きな音楽を
思う存分愉しむ家



木が醸し出す、
癒しに包まれた家



新たな命を
与えられた古民家